

予算審査特別委員会記録

令和8年2月27日（金）午後2時44分開議

○審査日程

- 1 委員長の互選
- 2 副委員長の互選
- 3 委員席の指定
- 4 分科会の設置
- 5 分科会委員の選任
- 6 分科会主査・副主査の互選
- 7 理事会の設置
- 8 総括説明

議案自第15号至第28号
議案第29号
議案第30号、第31号
議案第32号

財政局長
病院事業管理者
建設局長
水道局長

○出席委員

石川美香君	吉川英二君
茂呂一弘君	岳田雄亮君
須藤博文君	岡崎純子君
黒澤和泉君	野島友介君
山崎真彦君	渡邊惟大君
桜井秀夫君	青山雅紀君
伊藤隆広君	前田健一郎君
石川弘君	小坂さとみ君
三井美和香君	渡辺忍君
安喰初美君	椀澤洋平君
守屋聡君	蛭田浩文君
伊藤康平君	阿部智君
松坂吉則君	植草毅君
岩井雅夫君	亀井琢磨君
田畑直子君	川合隆史君
麻生紀雄君	段木和彦君
佐々木友樹君	盛田眞弓君
櫻井崇君	森山和博君
酒井伸二君	小松崎文嘉君

暫定版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和8年予算審査特別委員会記録（2月27日）

向 後 保 雄 君	宇 留 間 又 衛 門 君
中 島 賢 治 君	三 須 和 夫 君
石 井 茂 隆 君	米 持 克 彦 君
石 橋 毅 君	白 鳥 誠 君
三 瓶 輝 枝 君	中 村 公 江 君
野 本 信 正 君	

○欠席委員

大 平 真 弘 君

○説明員

市 長 神 谷 俊 一 君	副 市 長 大 木 正 人 君
副 市 長 橋 本 直 明 君	病院事業管理者 山 本 恭 平 君
総合政策局長 藤 代 真 史 君	総 務 局 長 久 我 千 晶 君
財 政 局 長 勝 瀬 光 一 郎 君	市 民 局 長 那 須 一 恵 君
保健福祉局長 今 泉 雅 子 君	こども未来局長 大 町 克 己 君
環 境 局 長 秋 幡 浩 明 君	経 済 農 政 局 長 安 部 浩 成 君
都 市 局 長 鹿 子 木 靖 君	建 設 局 長 山 口 浩 正 君
消 防 局 長 市 村 裕 二 君	水 道 局 長 山 田 裕 之 君
会 計 管 理 者 折 原 亮 君	病 院 局 次 長 橋 本 欣 哉 君
市 長 公 室 長 山 崎 哲 君	総 務 部 長 中 尾 嘉 之 君
財 政 部 長 大 畑 晃 君	教 育 長 鶴 岡 克 彦 君
教 育 次 長 中 島 千 恵 君	選 挙 管 理 委 員 会 清 水 公 嘉 君
人 事 委 員 会 桑 本 茂 樹 君	事 務 局 長 農 業 委 員 会 渡 部 義 憲 君
事 務 局 長 代 表 監 査 委 員 宍 倉 輝 雄 君	事 務 局 長

○議会事務局

事 務 局 長 香 取 徹 哉 君	次 長 寺 崎 勝 宣 君
議 事 課 長 安 西 雅 樹 君	議 事 課 長 補 佐 佐 藤 大 介 君
議 事 班 主 査 石 黒 薫 子 君	

○議長（松坂吉則君） ただいまから、予算審査特別委員会を開催していただくわけですが、本日は最初の委員会でございますので、正副委員長の互選等をお願いいたします。

私より、年長委員であります石橋毅議員を御紹介申し上げます。

それでは、石橋毅議員、よろしくお願ひ申し上げます。

〔議長退席、年長委員着席〕

午後 2 時 44 分 開 議

○年長委員（石橋 毅君） ただいまから予算審査特別委員会を開きます。

私が年長委員ということでありますので、委員長が互選されるまで委員長の職を務めさせていただきます。

出席委員は49名、委員会は成立いたしております。

委員長の互選

○年長委員（石橋 毅君） それでは、委員長の互選につきましては、指名推薦の方法によることとし、私から指名いたしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○年長委員（石橋 毅君） 御異議がないものと認め、委員長には石川弘委員を指名いたしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○年長委員（石橋 毅君） 御異議がないようでございますので、石川弘委員が委員長に当選をされました。

それでは、委員長就任の御挨拶をお願いいたします。

〔委員長 石川 弘君 登壇、拍手〕

○委員長（石川 弘君） どうも皆さんこんにちは。ただいま皆様の御推挙をいただきまして、予算審査特別委員会の委員長に選任されました、自由民主党千葉市議会議員団の石川弘でございます。

それでは、一言御挨拶をさせていただきます。

この委員長という大変な重責を仰せつかり、身の引き締まる思いでございます。令和8年度当初予算案は、これからの千葉市の未来を左右する極めて重要な予算であります。特に、次世代を担う子供たちの健やかな成長を支える子育て支援の充実、そして市民の尊い命と暮らしを守り抜く防災・減災対策の強化は一刻の猶予も許されない喫緊の課題であると認識しております。

本委員会におきましては、これらの施策は市民の皆様の期待に真に応えるものか、委員各位との活発な議論を通じて、厳正かつ丁寧な審査を進めてまいり所存です。

運営にあたりましては、公平中立を旨とし、円滑な議事進行に全力を尽くしてまいりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。（拍手）

○年長委員（石橋 毅君） それでは、委員長席を交代いたします。皆様方の御協力に感謝いたします。ありがとうございました。（拍手）

〔年長委員退席、委員長着席〕

副委員長の互選

○委員長（石川 弘君） それでは、引き続き、副委員長の互選につきましては、指名推薦の方法によることとし、私から指名いたしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（石川 弘君） 御異議ないものと認め、副委員長には酒井伸二委員を指名いたしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

暫定版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和8年予算審査特別委員会記録（2月27日）

○委員長（石川 弘君） 御異議ないものと認め、酒井伸二委員が副委員長に当選されました。それでは、副委員長就任の御挨拶をお願いいたします。

〔副委員長 酒井伸二君 登壇、拍手〕

○副委員長（酒井伸二君） 皆様こんにちは。ただいま皆様から御推挙をいただきまして、予算審査特別委員会副委員長に就任をいたしました、公明党千葉市議会議員団の酒井伸二でございます。

市民生活の向上や将来も見据えた本市の発展、さらには健全な財政の持続可能性など、様々な視点から慎重かつ厳正な審査が行われますよう石川委員長を補佐し、力を尽くしてまいります。

委員皆様の御協力を賜りますようお願い申し上げまして、簡単ではございますが就任の御挨拶とさせていただきます。よろしくをお願いいたします。（拍手）

委員席の指定

○委員長（石川 弘君） 次に、委員席につきましては、ただいまお座りの席を指定いたします。

分科会の設置

○委員長（石川 弘君） 次に、議案第15号から第32号までの18議案の審査のため、常任委員会単位の5つの分科会を設置することとし、各常任委員会の委員定数をもって構成いたしたいと思っておりますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（石川 弘君） 御異議ないものと認め、さよう決定いたしました。

分科会委員の選任

○委員長（石川 弘君） 次に、分科会委員の選任につきましては、お手元に配付の委員表のとおり指名いたしたいと思っておりますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（石川 弘君） 御異議ないものと認め、さよう決定いたしました。

委員表を添付

分科会主査・副主査の互選

○委員長（石川 弘君） 次に、各分科会の正副主査につきましては、各常任委員会の正副委員長を充てることといたしたいと思っておりますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（石川 弘君） 御異議ないものと認め、さよう決定いたしました。

理事会の設置

○委員長（石川 弘君） 次に、予算審査特別委員会に理事会を設置し、理事会は議会運営委員会理事会の構成をもって充てることといたしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（石川 弘君） 御異議ないものと認め、さよう決定いたしました。

審査の都合により、暫時休憩いたします。

午後 2 時 51 分 休憩

午後 3 時 30 分 開議

総括説明

○委員長（石川 弘君） 休憩前に引き続き、委員会を開きます。

まず、令和8年度一般会計予算及び各特別会計予算の総括説明をお願いいたします。財政局長。

○財政局長（勝瀬光一郎君） 令和8年度当初予算案の総括説明を申し上げます。

私からは、一般会計並びに企業会計を除く13の特別会計について御説明を申し上げ、引き続き、各企業会計につきましては、所管局より御説明を申し上げます。

それでは、令和8年度当初予算（案）のあらましの表紙をおめくりいただき、目次を御覧ください。

本日は、ローマ数字のⅠ、令和8年度当初予算（案）の概要を中心に御説明いたしますが、このうち、1の編成の背景と2の編成の基本的考え方につきましては、市長の提案理由の中で御説明申し上げておりますので、省略させていただきます、3の予算規模から御説明申し上げます。

それでは、6ページをお願いいたします。

初めに、3の予算規模です。

表1は、会計区分ごとの当初予算額を前年度と比較したもので、一般会計の規模は、5,417億円、前年度に比べ、95億円、1.7%の減となっております。

企業会計を含む特別会計17会計の規模は、4,792億6,900万円で、前年度に比べ、195億6,400万円、4.3%の増となっております。これは、公債管理特別会計や介護保険事業特別会計などで増額となることなどによるものです。

全会計合計の規模は、1兆209億6,900万円で、前年度に比べ、100億6,400万円、1.0%の増となっております。

7ページをお願いいたします。

4の一般会計予算の内容です。

まず、歳入ですが、表2の歳入予算の款別の主な内訳と、表の下の増減説明を併せて御覧いただきたいと存じます。

市税は、2,321億円、構成比は42.9%、前年度に比べ、109億円、4.9%の増となっております。これは、給与所得の増加などにより、個人市民税が増額となることなどによるものです。

国庫支出金は、1,191億6,000万円、構成比は22.0%、前年度に比べ、11億1,600万円、0.9%の減となっております。これは物価高対策に伴う重点支援地方交付金が増額となるものの、新清掃工場の整備完了に伴い清掃工場等整備事業費収入が減額となることなどによるものです。

暫定版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和8年予算審査特別委員会記録（2月27日）

8ページをお願いいたします。

市債は、374億5,600万円、構成比は6.9%、前年度に比べ、218億4,300万円、36.8%の減となっております。これは、清掃施設整備債が減額となるほか、若葉住宅地区の小学校建設の進捗に伴い、小学校校舎新築事業債が減額となることなどによるものです。

県支出金は、311億9,800万円、構成比は5.8%、前年度に比べ、18億8,600万円、6.4%の増となっております。これは、利用者数の増に伴い民間保育園等運営収入や障害者介護給付費等収入が増額となることなどによるものです。

地方消費税交付金は、295億900万円、構成比は5.4%、前年度に比べ、28億1,100万円、10.5%の増となっております。これは、消費の増加が見込まれていることなどにより、増額となるものです。

地方交付税は、279億円、構成比は5.2%、前年度に比べ、7億円、2.4%の減となっております。これは、市税等が増額となることに伴い普通交付税が減額となることによるものです。

諸収入は、220億7,300万円、構成比は4.1%、前年度に比べ、11億9,700万円、5.1%の減となっております。これは、ちば消防共同指令センター指令システム更新完了に伴い共同運用指令センター整備事業収入が減額となることなどによるものです。

以下、主な歳入は記載のとおりです。

10ページをお願いいたします。

次に、歳出ですが、表3の歳出予算の款別の主な内訳と、表の下の増減説明を併せて御覧いただきたいと存じます。

民生費は、2,235億8,800万円、構成比は41.3%、前年度に比べ、92億6,700万円、4.3%の増となっております。これは、利用者数の増に伴い民間保育園等運営事業費や、障害者介護給付等事業費が増額となることなどによるものです。

教育費は、785億9,300万円、構成比は14.5%、前年度に比べ、11億4,000万円、1.4%の減となっております。これは、若葉住宅地区の新設校建設事業費が減額となることなどによるものです。

土木費は、608億1,800万円、構成比は11.2%、前年度に比べ、26億7,700万円、4.6%の増となっております。これは、物価高対策として実施する下水道使用料の特別減免に伴い下水道事業会計への繰出金が増額となることなどによるものです。

次のページをお願いいたします。

公債費は、543億5,300万円、構成比は10.0%、前年度に比べ、17億1,900万円、3.3%の増となっております。これは、償還元金及び利子が増額となることなどによるものです。

総務費は、466億6,700万円、構成比は8.6%、前年度に比べ、66億200万円、16.5%の増となっております。これは、事業進捗に伴い中央コミュニティセンター再整備事業費が増額となるほか、住民情報系システムの標準化に係る経費が、増額となることなどによるものです。

衛生費は、456億2,300万円、構成比は8.4%、前年度に比べ、274億8,700万円、37.6%の減となっております。これは、新清掃工場整備事業費が減額となることなどによるものです。

以下、主な歳出は記載のとおりです。

12ページをお願いいたします。

5の一般会計予算の財政構造です。

まず、歳入ですが、自主財源と依存財源の状況は、表4のとおりです。

自主財源の構成比である自主財源比率は51.3%となり、前年度に比べ2.2ポイント増加しております。これは、自主財源で繰入金が増額となるものの、市税の増額などにより、前年度に比べ、72億4,300万円、2.7%の増となる一方、依存財源では国庫支出金や市債の減額などにより、前年度に比べ、167億4,300万円、6.0%の減となることなどによるものです。

次に、13ページの歳出ですが、義務的経費と投資的経費の状況は、表5のとおりです。

義務的経費は、3,171億6,900万円、構成比は58.6%、前年度に比べ、148億2,800万円、4.9%の増となっております。これは、民間保育園等運営事業費や障害者介護給付等事業費の増に伴い扶助費が増額となることなどによるものです。

投資的経費は、490億8,000万円、構成比は9.1%、前年度に比べ、339億9,700万円、40.9%の減となっております。これは、補助事業費において新清掃工場整備事業費や若葉住宅地区の新設校建設事業費が減額となることなどによるものです。

その他の経費は、1,754億5,100万円、構成比は32.3%、前年度に比べ、96億6,900万円、5.8%の増となっております。これは、物価高対策として実施する下水道使用料の特別減免に伴い下水道事業会計への繰出金が増額となることなどによるものです。

一般会計の状況は以上です。

次に、14ページをお願いいたします。

6の特別会計予算の状況でございます。

企業会計を除く13の特別会計の状況は、表6のとおりです。

主な会計につきまして御説明申し上げます。

国民健康保険事業特別会計は、803億6,800万円、前年度に比べ、18億5,400万円、2.4%の増となっております。これは、保険給付費が増額となるほか、子ども・子育て支援金制度の導入により、国民健康保険事業費納付金が増額となることなどによるものです。

15ページをお願いいたします。

介護保険事業特別会計は、923億500万円、前年度に比べ、40億1,600万円、4.5%の増となっております。これは、要介護認定者数の増に伴い保険給付費が増額となることなどによるものです。

後期高齢者医療事業特別会計は、197億4,600万円、前年度に比べ、37億5,000万円、23.4%の増となっております。これは、被保険者数の増や保険料改定に伴い広域連合納付金が増額となることなどによるものです。

動物公園事業特別会計は、24億8,700万円、前年度に比べ、12億3,600万円、98.8%の増となっております。これは、湿原ゾーンの整備費などが増額となることなどによるものです。

学校給食事業特別会計は、111億6,400万円、前年度に比べ、14億2,100万円、14.6%の増となっております。これは、食材費高騰による、学校給食賄材料費が増額となることなどによるものです。

公債管理特別会計は、1,585億7,300万円、前年度に比べ、169億7,000万円、12.0%の増となっております。これは、償還元金及び利子が増額となることなどによるものです。

最後に、地方債の状況について申し上げます。

144ページ、145ページをお願いいたします。

6の会計別地方債総括表は、会計ごとの地方債の発行額や、現在高の状況を一覧にまとめたものでございます。

暫定版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和8年予算審査特別委員会記録（2月27日）

まず、左ページの発行額の状況ですが、8年度当初予算の発行額は、一番下の行になりますが、全会計合計で、1,058億2,700万円、前年度に比べ、234億9,300万円の減となっております。次に、右ページの現在高の状況でございます。

表の一番右の列、令和8年度末現在高見込額は、一番下の行、全会計合計で、9,795億200万円となります。

以上が市債の状況ですが、今後とも各種財政指標等の推移を見極めつつ、今年度中の策定に向け、内容を検討している現中期財政運営方針の後継となる財政計画を踏まえ、計画的な市債の活用に努めてまいります。

私からの説明は、以上でございます。

○委員長（石川 弘君） 次に、令和8年度病院事業会計予算の総括説明をお願いいたします。病院事業管理者。

○病院事業管理者（山本恭平君） 令和8年度病院事業会計当初予算案について、御説明申し上げます。

当初予算（案）のあらましの16ページをお願いいたします。

初めに、病院事業会計予算の状況ですが、表7の1を御覧ください。

表の一番下、令和8年度の支出合計は421億2,500万円で、前年度に比べ22.7%の減となっております。

次に、基本的な考え方ですが、地域の中核的な病院として、少子超高齢社会における医療需要の増大や多様化への対応を図りつつ、青葉病院における救急医療や精神疾患への対応、海浜病院における小児・周産期医療などの政策的医療に引き続き積極的に取り組み、市民が必要とする安全・安心で高度な医療を一人でも多くの市民に提供してまいります。

また、令和6年度決算において前年度に引き続き当期純損失を計上するなど、厳しい経営状況が続いていることから、地域医療連携の強化などにより収益の増加を図るとともに、業務の見直しなどにより経費、材料費等の費用の削減を行うなど、経営改善に引き続き取り組んでまいります。

さらに、海浜病院の老朽化に対応するため、令和8年10月の開院を目指し、（仮称）幕張海浜病院の開院準備を進めてまいります。

次に、業務の予定量ですが、数値は両市立病院の合計となっております。

令和8年度の職員数は1,279人、上半期の病床数は662床、下半期の病床数は678床の体制となります。

入院部門、外来部門を合わせた年間患者数は、53万3,510人、1日平均1,927人を予定しております。

また、主要な建設改良事業としましては、（仮称）幕張海浜病院建設工事の病院建設事業で7億1,900万円、青葉病院の空調熱源更新の病院整備事業で1億1,000万円、海浜病院の病院情報システムなどのリース資産購入費で3億6,800万円、医療機器等購入で57億1,200万円であります。

次に、収益的収入及び支出ですが、これは、日々の病院運営に関連する収入及び支出であります。

収益的収入は、入院・外来収益などの医業収益が221億9,800万円、他会計負担金などの医業外収益等が71億5,900万円、合計293億5,700万円で、増減率は14.2%の増となっております。

収益的支出は、給与費、材料費、経費などの医業費用が289億6,900万円、企業債利息などの医業外費用等が36億4,000万円、合計326億900万円で、増減率は19.3%の増となっております。

最後に、資本的収入及び支出ですが、これは主に施設整備に関連する収入及び支出であります。

資本的収入は、建設改良事業に充当する企業債が61億4,200万円、過去に借り入れた企業債の元金償還金などの財源となる一般会計負担金等が22億4,000万円、固定資産売却代金が2,400万円、合計84億600万円で、増減率は67.4%の減となっております。

また、資本的支出は、病院建設費及び病院整備費として9億5,200万円、医療機器等購入費が57億1,200万円、リース資産購入費が3億6,800万円、企業債償還金等が24億8,400万円、合計95億1,600万円で、増減率は65.0%の減となっております。

以上でございます。

○委員長（石川 弘君） 次に、令和8年度下水道事業会計予算及び農業集落排水事業会計予算の総括説明をお願いいたします。建設局長。

○建設局長（山口浩正君） 令和8年度下水道事業会計当初予算案について、御説明いたします。

令和8年度当初予算（案）のあらましの18ページをお願いいたします。

下水道事業会計予算の状況ですが、表7の2を御覧ください。

表の一番下の令和8年度の支出合計は、563億3,500万円で、前年度に比べ、15億5,000万円、2.8%の増となっております。

次に、基本的な考え方でございますが、令和8年度は引き続き、下水道事業中長期経営計画に基づき、安全・安心で快適な生活を支える下水道を目指し、雨水対策重点地区整備基本方針に基づいた、浸水リスクの高い重点地区、その他の一般地区において、雨水管渠や貯留槽などの雨水施設の整備を進めるほか、市民による防水板設置費用の一部を助成してまいります。

また、下水道の適正な機能を維持するため、下水道ストックマネジメント計画に基づき、処理場及びポンプ場設備の点検、補修を適正に行い、必要に応じて改築を進めるほか、将来人口減少に伴う汚水量を考慮し、老朽化した下水道施設の統廃合を進めてまいります。

管路については、事故発生時の社会的影響を考慮し、中大口径管を中心にカメラ調査・点検を行い、修繕や改築を進めてまいります。

さらに、国の経済対策を活用し、大規模地震発生時に下水道機能を確保するため、下水道総合地震対策計画に基づき、重要な幹線等や処理場、ポンプ場の耐震化を行うとともに、液状化地区におけるマンホール浮上防止対策や避難所へのマンホールトイレの設置を進めてまいります。

そのほか、快適な暮らしの基盤づくりに向け、汚水管路の整備を進め、未普及地域の解消に努めてまいります。

加えて、環境の保全と循環型社会を目指す下水道として、温室効果ガス排出量を削減するため、引き続き南部浄化センター下水汚泥固形燃料化事業を進めてまいります。

このほか、健全な経営に基づいた持続可能な下水道として、両浄化センター及び一部の地域における管路において、引き続き包括的民間委託による維持管理を行い、官民連携の推進を図るなど、良質で維持可能な下水道サービスを提供するため、さらなる経営基盤の強化に努めてまいります。

暫定版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和8年予算審査特別委員会記録（2月27日）

次に、業務の予定量でございますが、令和8年度は、汚水処理世帯数46万8,062世帯、総処理水量は、1億1,601万5,841立方メートルを予定しており、この結果、1日平均処理水量は、31万7,852立方メートルとなっております。

また、主要な建設改良事業については、管渠整備事業費44億5,500万円、ポンプ場整備事業費15億9,300万円、処理場整備事業費29億3,100万円となっております。

次に、収益的収入及び支出でございますが、収益的収入については、下水道使用料などの営業収益228億5,200万円、他会計補助金などの営業外収益等105億4,700万円、合計333億9,900万円で、増減率は6.3%の増となっております。

収益的支出については、管渠費、ポンプ場費、処理場費などの営業費用275億8,800万円、企業債利息などの営業外費用等32億5,400万円、合計308億4,200万円で、増減率は1.1%の増となっております。

次に、資本的収入及び支出でございますが、資本的収入については、企業債114億5,000万円、国庫補助金21億3,300万円、他会計負担金等11億2,500万円、合計147億800万円で、増減率は、4.5%の増となっております。

資本的支出については、建設改良費99億6,000万円、施設利用負担金などの固定資産購入費6億200万円、企業債償還金等149億3,100万円、合計254億9,300万円で、増減率は5.0%の増となっております。

続いて、令和8年度農業集落排水事業会計当初予算案について、御説明いたします。

20ページをお願いいたします。

農業集落排水事業会計予算の状況ですが、表7の3を御覧ください。

表の一番下の令和8年度の支出合計は、13億4,100万円で、前年度に比べ、2億7,500万円、25.8%の増となっております。

次に、基本的な考え方でございますが、令和8年度は、引き続き、農業集落排水事業中長期経営計画に基づき、施設の保守、点検及び修繕により最適な汚水処理を行うとともに、施設の再編を進め、効率的な事業運営を図り、経営基盤の強化に努めてまいります。

次に、業務の予定量でございますが、令和8年度は、汚水処理世帯数1,848世帯、総処理水量は、54万6,237立方メートルを予定しており、この結果、1日平均処理水量は、1,497立方メートルとなっております。

また、主要な建設改良事業については、農業集落排水施設再編工事などの農業集落排水施設整備費5億5,700万円となっております。

次に、収益的収入及び支出でございますが、収益的収入については、農業集落排水使用料などの営業収益8,500万円、他会計補助金などの営業外収益4億7,000万円、合計5億5,500万円で、増減率は1.4%の増となっております。

収益的支出については、農業集落排水施設費、減価償却費などの営業費用4億8,400万円、企業債利息などの営業外費用等5,700万円、合計5億4,100万円で、増減率は2.7%の減となっております。

次に、資本的収入及び支出でございますが、資本的収入については、企業債4億2,800万円、国・県補助金1億2,900万円、一般会計補助金等2億2,500万円、合計7億8,200万円で、増減率は50.7%の増となっております。

資本的支出については、建設改良費5億5,700万円、企業債償還金等2億4,300万円、合計8

億円で、増減率は56.8%の増となっております。

説明は、以上でございます。

○委員長（石川 弘君） 最後に、令和8年度水道事業会計予算の総括説明をお願いいたします。水道局長。

○水道局長（山田裕之君） 令和8年度水道事業会計の当初予算案につきまして、御説明申し上げます。

令和8年度当初予算（案）のあらましの22ページをお願いいたします。

初めに、水道事業会計予算の状況でございますが、表7の4を御覧ください。

表の一番下の欄、支出合計は45億3,400万円で、前年度に比べ、7億700万円、18.5%の増となっております。

これは、資本的支出における改良費の増などによるものでございます。

次に、基本的な考え方についてですが、中長期経営計画に基づき、強靱な水道、水道サービスの持続、安全な水道という3つの基本方針を踏まえて事業を進めてまいります。

令和8年度は、水道未普及地区からの給水要望に対応するため、大木戸町で配水管の整備を行うほか、配水管や浄水場設備の耐震化・更新を行ってまいります。

なお、水道事業の運営につきましては、より一層の経費節減を図り、効率的な事業経営に努めてまいります。

次に、業務の予定量ですが、本年度は、給水戸数2万970戸、前年度に比べ102戸の増となり、年間総給水量は、470万4,485立方メートルを予定しております。

この結果、1日平均給水量は、1万2,889立方メートルとなっております。

また、主要な建設改良事業といたしまして、拡張事業費400万円、改良事業費8億7,100万円となっております。

次に、収益的収入及び支出ですが、収益的収入につきましては、水道使用料などの営業収益11億8,700万円、他会計補助金などの営業外収益等13億1,600万円、合計25億300万円で、増減率は14.6%の増となっております。

収益的支出については、県からの受水費、職員給与費、減価償却費などの営業費用22億5,900万円、企業債利息などの営業外費用等1億3,900万円、合計23億9,900万円で、増減率は13.0%の増となっております。

最後に、資本的収入及び支出ですが、資本的収入については、拡張費及び改良費に充当する企業債7億500万円、出資金並びに負担金など8億5,300万円、国庫補助金・県補助金6,100万円、合計16億1,900万円で、増減率は35.6%の増となっております。

資本的支出については、拡張費や改良費などの建設改良費11億6,500万円、企業債償還金など9億7,000万円、合計21億3,500万円で、増減率は25.3%の増となっております。

説明は、以上でございます。

○委員長（石川 弘君） お聞きのとおりでございます。

以上で、本日の日程は終了いたしました。

次会は、3月16日本会議散会後に委員会を開きます。

本日は、これをもって散会といたします。御苦労さまでした。

午後3時49分散会

暫 定 版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。
令和8年予算審査特別委員会記録（2月27日）

千葉県議会委員会条例第29条の規定により署名する。

予算審査特別委員長 石 川 弘